iStorage NS500Rk　ご使用時の注意事項

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品のご使用にあたり、ご注意いただきたいことがあります。お手数ですが、ご使用前に下記内容を必ずご一読ください。
なお、本書は必要なときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

◇ Index

1) はじめに
2) 装置起動時に関する注意事項
3) システム ROM の機能に関する注意事項
4) iLO6 の機能に関する注意事項
5) OS に関する注意事項
6) 全般の機能に関する注意事項
A) ファームウェア更新に伴う変更点

1) はじめに

● 本製品のマニュアルについて

本製品に関する詳細は、以下の Web サイトに掲載されているマニュアルを参照してください。
https://www.support.nec.co.jp/
「NEC サポートポータル内検索」より、「3170102856」を入力して検索してください。

また、ESMPRO/ServerManager、ESMPRO/ServerAgentService、エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)/エクスプレス通報サービス(MG)に関しては、
ESMPRO 日本語ポータルサイト https://jpn.nec.com/esmsm/
NEC サポートポータル https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124
の最新の情報およびバージョンを確認し、適切なソフトウェアを使用してください。

● Starter Pack について

本製品で使用する Starter Pack は、以下の Web サイトに最新版が掲載されています。
Web サイトに掲載されている内容を確認し、バージョン S8.10-011.02 以降を適用してください。
https://www.support.nec.co.jp/
(「NEC サポートポータル内検索」より、「Starter Pack Version S8.10-011」を検索)

● 本製品の保守作業時間に関して

本製品は、障害発生時などの保守作業において、保守部材と搭載ファームウェア、ドライバーの組み合わせによっては、保守作業に時間を要する場合があります。

2) 装置起動時に関する注意事項

● **「Memory Initialization - Start」のメッセージで POST 停止した場合の対処について**

本体装置の電源投入後、「Memory Initialization - Start」のメッセージで、まれに POST 停止することがあります。
この現象が発生した場合は、以下の手順で復旧してください。

① 本体装置前面の POWER スイッチ(または、iLO Web インターフェイスにある Power アイコン)を 4 秒以上押し続けて、本体装置の電源をオフにしてください。
② 本体装置前面の POWER スイッチ(または、iLO Web インターフェイスにある Power アイコン)を押して、本体装置の電源をオンにした後、正常に起動することを確認してください。

現象発生時の POST メッセージ

```
NEC iStorage System BIOS UXX vY.ZZ (mm/dd/yyyy)
Early system initialization, please wait...
System Chipset initialization
UPI Link initialization - Start
UPI Link initialization - Complete
Early Processor initialization
Memory initialization - Start
```

3) システム ROM の機能に関する注意事項

● **Boot Order Policy オプションについての注意事項**

Boot Order Policy オプション(*)は、「Reset After Failed Boot Attempt」に設定してください。本設定により、Boot Order のリストにあるすべてのブートデバイスでブートに失敗した(ブートデバイスが初期化に時間がかかるなど)場合、システムの再起動を行います。システムの再起動により、ブート処理を再実行することで OS ブートに成功することがあります。
2023 年 8 月より、Boot Order Policy オプションの工場出荷時設定は[Retry Boot Order Indefinitely]から[Reset After Failed Boot Attempt]に変更されました。

(*) 「BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Boot Options > Boot Order Policy」

● **UEFI Boot Order Control の注意事項**

システム ROM バージョン 2.32 の場合、UEFI Boot Order Control メニュー(*1)で新たなブートデバイスの有効化、または無効化の設定や保存ができません。
詳細は以下の Web サイトを確認してください。
https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109992

ブートデバイスの起動優先順位を変更する際は、UEFI Boot Order メニュー(*2)にて行ってください。
また、UEFI Boot Order メニューまたは UEFI Boot Order Control メニューに移動するたびに、画面下段にある"Changes Pending"文字列の前に赤い◎が表示されます。
必要に応じて<F10>キーを押下し、設定の保存を行ってください。

(*1) 「BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Boot Options > UEFI Boot Order Control」
(*2) 「BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Boot Options > UEFI Boot Order」

システム ROM バージョン 2.44 ではこの問題が修正されていますので、アップデートを推奨します。

● **工場出荷時の設定について**

2024 年 7 月 8 日出荷装置より、下記項目の出荷時設定を変更しています。
System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Processor Options > Processor x2APIC Support : [Auto] → [Force Enabled]

この設定により、高コア数の CPU を使用時に、オペレーティングシステムをより効率的に実行できるようになります。

2024 年 7 月 8 日より前に本機を購入されたお客様は、上記設定に変更してください。

● **PCIe Slot の Link Speed 設定について**

システム ROM バージョン 2.32 未満の場合、下記の PCIe Slot について PCIe Link Speed (*1)を変更しても Link Speed に反映されません。常に最大 Link Speed で動作します。

PCIe Slot 4/5/6

(*1) PCIe Link Speed 設定メニュー
BIOS/Platform Configuration (RBSU) > PCIe Device Configuration > PCIe Slot X : "Device 名" > PCIe Link Speed : [Auto] / PCIe Generation 1.0 / PCIe Generation 2.0 / PCIe Generation 3.0

PCIe Slot X	:	PCIe Slot 4/5/6
"Device 名"	:	実装される PCIe Device によって表示が変わります。
PCIe Link Speed	:	デフォルト設定は[Auto]です。設定変更は行わないでください。 実装される PCIe Device によって、選択可能な PCIe Generation 1.0/2.0/3.0 は変わります。

システム ROM バージョン 2.32 ではこの問題が修正されていますので、アップデートを推奨します。

●View IML に関する注意事項

次の条件を満たしたシステムにおいて、システムユーティリティの View IML 機能(*1)は使用しないでください。

・ システム ROM バージョン 2.16 未満

かつ

・ RAID コントローラ(N8103-243/245)を搭載(ファームウェアバージョン 5.61)

上記条件を満たした状態で View IML 機能を使用すると、RSoD (Red Screen of Death)が発生します。
そのため、IML ログを表示する場合は、iLO Web インターフェイス(*2)を使用してください。
なお、RSoD (Red Screen of Death)が発生した場合には、システムの復旧のために電源をオフ、オンする必要があります。

(*1) 「System Utilities > Embedded Applications > Integrated Management Log (IML)」
(*2) iLO Web インターフェイス：「Information > Integrated Management Log」

4) iLO6 の機能に関する注意事項

● **iLO の再起動を行う場合の注意事項**

以下に示すタイミングにおいては、iLO の再起動(*1)を行わないでください。
・サーバー起動から OS の起動完了までの間(POST 実行中も含む)。
・システムユーティリティの操作途中。

(*1) システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」での設定変更後のiLOの再起動については、本書の「**システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」の操作についての注意事項**」を参照して操作してください。

例えば、POST実行中にiLOの再起動を行うと、iLO Webインターフェイスの「Information > Overview」ページにおけるUUID、UUID(論理)が正しく表示されない場合があります。また、システムユーティリティの設定変更などの操作の途中でiLOの再起動を行うと、直後のシステム再起動処理(Reboot)で「Memory Initialization - Start」のメッセージで停止する場合(*2)や、本体装置に記録されているSerial Number、Product IDなどの設定情報が消失してしまう場合(*3)があります。
もし上記のような不正な表示や動作が発生した場合は、一度本体装置の電源をオフにし、再度オンにしてください。本体装置の電源をオフ／オンしても事象が再発する場合は、事象に応じて注記（*2）または（*3）の手順で復旧してください。
＜対象となる iLO の再起動の方法＞
・ iLO Web インターフェイスなどを利用したネットワーク経由での iLO の再起動。
・ UID スイッチを使用した iLO の再起動。

(*2) システムメンテナンススイッチ SW6 にて、システム設定をデフォルトに戻し、正常に起動することを確認してください。SW6 の操作手順については、メンテナンスガイドの「7.4 システム設定情報の初期化」>「7.4.2 システムメンテナンススイッチの操作手順」を参照してください。
(*3) メンテナンスガイドの「5.トラブルシューティング」>「5.11 補足事項」>「Serial Number、Product ID が消失してしまった」の項目を参照し、Serial Number、Product ID の復旧を行ってください。

● **iLO 連携グループ ファームウェア アップデート機能について**

本機能を使用する場合は、iLO6 ファームウェアバージョン 1.52 以降であることを確認してください。
iLO6 ファームウェアバージョン 1.30、または 1.41 の環境において、iLO Web インターフェイスの「iLO 連携」 >「グループファームウェアアップデート」ページを開いたとき、以下のような「呼び出しに失敗しました」というメッセージが表示され、機能を利用することができません。

(*) 表示されるエラー内容は、将来、変更される可能性があります。

● **iLO のダウングレードポリシー機能の注意事項**

iLO の拡張ライセンスがインストールされている場合、「Security > Access Settings > Update Service > Downgrade Policy」の設定を[Permanently disallow downgrades]に変更しないでください。
[Permanently disallow downgrades]に設定した場合、ファームウェアのダウングレードを行うことができなくなります。また、この設定は一度設定すると永続的に保持されるため、「Set to factory defaults」から iLO を出荷時のデフォルト設定に戻しても、その他の iLO の各種インターフェイスや各種ユーティリティから設定変更を試みても、[Permanently disallow downgrades]設定は維持されたままになります。

● **iLO Web インターフェイスのセキュリティアイコンに関する注意事項**

RBSU の設定や iLO の設定内容によって、iLO Web インターフェイスの「Information > Security Dashboard」および画面右上のセキュリティステータスにリスク(赤色)が表示される場合があります。
表示されるリスクの内容を確認し、お客様のセキュリティポリシーに応じてセキュリティの対処を行ってください。
推奨値などの詳細については、iLO6 ユーザーズガイドを参照してください。
ただし、[Require Host Authentication]設定については、本書内の**「iLO Web インターフェイスの[ホスト認証が必要]設定における注意事項」**に記載がありますので、確認してください。

iLO の負荷状況によっては「Information > Security Dashboard」の”全体セキュリティステータス”が『リスク』であっても、iLO Web インターフェイス画面の右上部の”iLO セキュリティ”アイコンが無色になる場合があります。
「Information > Security Dashboard」の”全体セキュリティステータス”が現在のセキュリティ状態を示します。

● **iLO の時刻設定について**

iLO の時刻設定については、適切な時刻補正を行うために、iLO Web インターフェイスにて SNTP の設定を行い、NTP サーバを利用した定期的な時刻の自動補正が行える状態で使用することを推奨します。
iLO の SNTP の設定方法については、iLO6 ユーザーズガイドを参照してください。

● **iLO Web インターフェイスの[ホスト認証が必要]設定における注意事項**

「Security > Access Settings > iLO」にある[ホスト認証が必要/Require Host Authentication]を[有効]に設定しないでください。

[有効]に設定を行った場合、次に示す状況が発生します。
- ESMPRO/ServerManager のアラートビューアに、“Remote Insight/Integrated Lights-Out 認証されないログイン試行検出”のメッセージが多数表示されます。
- Starter Pack (Standard Program Package)を適用するとエラーが発生します。

また、次のサービスや機能を利用できません。
- エクスプレス通報サービスにおいてハードウェア障害に関する通報
- RAID 通報サービス
- サーバ診断カルテのハードウェア診断機能
- iLO が収集するハードウェアに関するデバイス情報や設定情報の参照、およびイベントログ採取機能

● **ネットワークブリッジ構成時の iLO Web インターフェイスのネットワーク情報の表示について**

ネットワークをブリッジ構成で使用する場合、iLO Web インターフェイスの「Information > Network > Physical Network Adapters」に表示される内容が OS 上の内容と一致しない場合があります。ブリッジ情報の詳細は、OS 上のネットワークアダプターのプロパティで確認してください。

● **RESTful API Error が発生した場合の対処について**

POST 実行中、まれに RESTful API Error が発生し、Integrated Management Log (IML)に記録されることがあります。本イベントが記録された場合、各種監視ソフトウェア(*)からの iLO へのアクセスが正しく行えないことがあるため、iLO の再起動を実施してください。

(*) ESMPRO/ServerAgentService、RAID 通報サービス、サーバ診断カルテ、装置情報収集ユーティリティ

● **iLO Web インターフェイスの Agentless Management Service (AMS)のステータスについて**

iLO Web インターフェイスの「System Information > Summary > Subsystems and Devices」の Agentless Management Service (AMS)のステータスにおいて、ステータスが「不明」(または「利用不可能」)(*)と表示されている場合は、iLO の再起動を実施してください。その後、10 分程度経過してから、以下の Agentless Management Service (AMS)の再起動方法に従って、Agentless Management Service (AMS)を再起動してください。

< Agentless Management Service (AMS)の再起動方法 >

・ Windows の場合

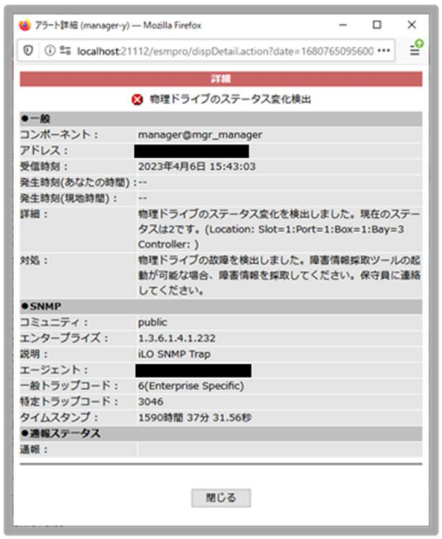
「Windows の管理ツール > サービス > [Agentless Management Service]」を右クリックし、再起動してください。

(*) Agentless Management Service (AMS)のステータスが不明(または利用不可能)の状態の場合、iLO Web インターフェイスの「System Information > Storage」や「System Information > Network」の一部の情報が取得できず、正しく表示されません。また、この影響により、ESMPRO/ServerManager による IML 監視やエクスプレス通報などが正しく行えない可能性があります。

● **物理ドライブの通報に関する注意事項**

論理ドライブを構成した環境で物理ドライブを取り外した際、物理ドライブ故障に関するエクスプレス通報は通知されません。
また、ESMPRO/ServerManager アラートビューアでは「物理ドライブのステータス変化検出」が通知されますが、仕様変更に伴い詳細欄のステータス値が「3」ではなく、「2」が表示されます。

＊ ステータス値の「2」は正常(OK)、「3」は異常(Failed)を示します。



● **仮想シリアルコンソールに関する注意事項**

iLO6 ファームウェアバージョン 1.70 をご使用の場合：
SMASH-CLP からテキストベースの仮想シリアルコンソール表示のための vsp コマンドを実行すると、”VSP is disabled”が表示され、シリアルコンソール出力の表示が行われません。

vsp コマンドの代わりに以下のいずれかの方法で仮想シリアルコンソール表示を実施してください。

・ SMASH-CLP を使用する場合

```
start /system1/oemNEC_vsp1
または
cd /system1/oemNEC_vsp1
start
```

・ IPMI I/F を使用する場合(ipmitool での使用例)

```
ipmitool -I lanplus -C 17 -H <iLO IP address> -p 623 -U <iLO Account> -P <iLO Account Password>
sol activate
```

● **LLDP に関する注意事項**

iLO Web インターフェイスの「iLO Dedicated Network Port ＞ LLDP」において、「Link Layer Discovery Protocol」を有効に設定すると、同一ネットワーク上に LLDP サポート機器が存在せず隣接機器のデバイス情報の取得ができない場合に「LLDP 情報が見つかりません」と表示され、これ以降「Link Layer Discovery Protocol」の有効/無効の切り替えができなくなります。

万が一、設定変更ができなくなった場合には、「BMC Configuration Utility ＞ Set to factory defaults」を実行し、工場出荷時のデフォルト設定に戻すことで解消できます。

● **Server Platform Services (SPS) ファームウェアに関する注意事項**

iLO6 ファームウェアバージョン 1.70 未満の場合、Server Platform Services (SPS) ファームウェアバージョン 6.1.4.204.0 を適用すると、iLO Web インターフェイスの「Firmware & OS Software ＞ Firmware」での SPS ファームウェアバージョンが正しく表示されないことがあります。

iLO6 ファームウェアバージョン 1.70 以降においては正しく表示されますので、アップデートを推奨します。
また、システムユーティリティの Firmware Information メニュー(*)では、正しい SPS ファームウェアバージョンを確認できます。

(*) 「System Utilities ＞ System Information ＞ Firmware Information」

● **ネットワーク情報表示に関する注意事項**

・iLO6 ファームウェアバージョン 1.74 以降の適用装置で、iLO Web インターフェイスの「システム情報 ＞ ネットワーク」において、ネットワークポート情報が表示されない場合があります。
　OS のツール(Windows Server:ipconfig など)を使用して確認してください。

正常時の表示例

現象発生時の表示例

・iLO6 ファームウェアバージョン 1.74 以降の適用装置で、iLO Web インターフェイスの「システム情報 > ネットワーク」において、PCI スロットに同一型番の NIC が複数台搭載された場合、ネットワークポート情報内の IPv4 および IPv6 アドレスに「N/A」が表示される場合があります。
OS のツール(Windows Server:ipconfig、Red Hat Enterprise Linux:ip addr など)を使用して確認してください。

正常時の表示例

現象発生時の表示例

● **サーバーブート順序設定の注意事項**

iLO6 ファームウェアバージョン 1.74 以下の装置では、iLO Web インターフェイスの「管理 > ブート順序」の[サーバーブート順序]からブート順序の設定をしないでください。
[サーバーブート順序]からブート順序を設定した場合、再起動や電源オフ/オン後に以下の問題が発生することがあります。
・iLO Web インターフェイスで設定した[サーバーブート順序]の設定が保持されない。
・システムユーティリティで無効に設定していたブートデバイスが予期せず有効に設定され、[サーバーブート順序]に表示される。
・[サーバーブート順序]がデフォルト値に戻る、または予期せぬ設定に変更される。

ブート順序の設定は、RBSU の「Boot Options > UEFI Boot Settings > UEFI Boot Order」で実施してください。

5) OS に関する注意事項

● **サーバーマネージャー上の赤い警告表示について**

本製品の出荷時状態で、OS 起動後にサーバーマネージャーを表示すると、サービスに関する警告が赤色で表示されます。
警告の内容が、Microsoft Edge Update Service (edgeupdate)サービスに関するものである場合、実害はありませんので、無視いただいて問題ありません。
本警告の詳細については、下記 URL のマイクロソフト社の情報を参照してください。

Windows Server 2022 において、サーバーマネージャー上に edgeupdate サービスに関する警告が表示される。
https://jpwinsup.github.io/blog/2021/09/29/UserInterfaceAndApps/SrvMngWithEdge/

6) 全般の機能に関する注意事項

● **N8103-184/E184 SAS コントローラ ご使用時の注意事項**

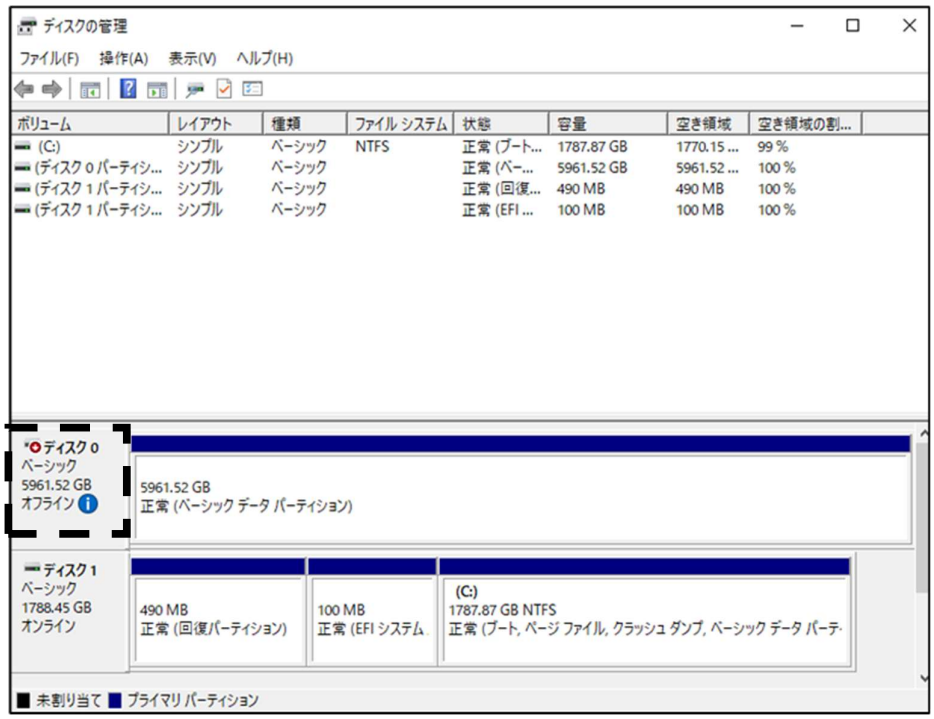
N8103-184/E184 SAS コントローラを使用する場合、iLO Web インターフェイスの「System Information > Storage > Storage Controller」の Status が“不明(Unknown)”と表示される場合がありますが動作に影響はありません。

● **N8103-244/246 RAID コントローラご使用時の注意事項**

・システム ROM バージョン 2.32 未満の場合、iLO Web インターフェイスの One-button セキュア消去レポートの位置(Location)情報が実際のドライブの搭載スロットと異なることがありますが、One-button セキュア消去の動作は、正常に完了します。
消去結果は「成功」の表示で確認してください。

システム ROM バージョン 2.32 では、この問題が修正されていますので、アップデートを推奨します。

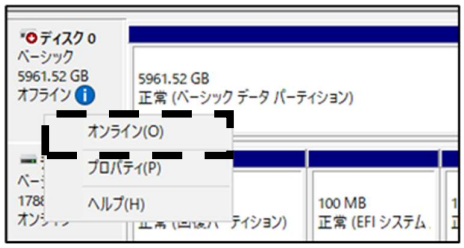
・Windows 環境でファームウェアバージョン 03.01.23.072 を用いた N8103-244 と N8103-246 の混在構成、もしくは N8103-246 を 2 枚搭載している構成の場合、起動時に OS がインストールされていないディスク(データディスク)がオフラインになる場合があります。データ消失などは発生しません。



この現象はお使いの OS が Windows の場合でのみ発生します。
この現象が発生した場合は下記の手順を参考に「ディスクの管理」よりディスクをオンラインに変更してください。

[ディスクの管理からオンラインに変更する方法]

① オフラインになっているディスクの点線で囲まれた部分を右クリック



② オンラインをクリック

● **PCI カードの取り付けに関する注意事項**

PCI カードを本装置に取り付ける際は、PCI スロットに差し込んだ後、PCI カード、またはライザーカードに付属のネジを用いてライザーカードに固定してください。
なお、工場出荷時に搭載されている PCI カードはネジで固定しています。

● **「Halted system due to SPDM (Security Protocol and Data Model) component authentication failure」と表示された場合の注意事項**

システムの再起動を実行した場合、まれに以下に例示する SPDM 関連のエラーが発生して、OS が起動しないことや、電源投入時セルフテスト(POST)が完了しないことがあります。

例:

1. Halted system due to SPDM (Security Protocol and Data Model) component authentication failure
2. System halted due to Security Protocol and Data Model (SPDM) component authentication failure

この画面で停止した場合は以下のいずれかの方法でシステムを再起動してください。

・iLO Web インターフェイスより「Power & Thermal > Server Power > Virtual Power Button」の[Press and Hold]をクリック後、[System Power]が[OFF]になっていることを確認し、[Virtual Power Button]の[Momentary Press]をクリックしてください。

もしくは

・本装置の POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、POWER ランプ消灯を確認してから、再度 POWER スイッチを押してください。

```
Halted system due to SPDM (Security Protocol and Data Model)
component authentication failure.
See IML and Security Log for details.
```

● **サーバ診断カルテについて**

サーバ診断カルテは、対象製品の稼働状況を記録し、月ごとに稼働状態の診断カルテを提供するサービスです。
サーバ診断カルテの詳細は、Starter Pack 内の「サーバ診断カルテ セットアップガイド」を参照してください。

サーバ診断カルテの最新の情報および注意事項、制限事項については下記の Web サイトを確認してください。
サーバ診断カルテは最新版を使用することを推奨します。

NEC サポートポータル (Windows 対応版)
https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?&id=9010106809

● **システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」の操作についての注意事項**

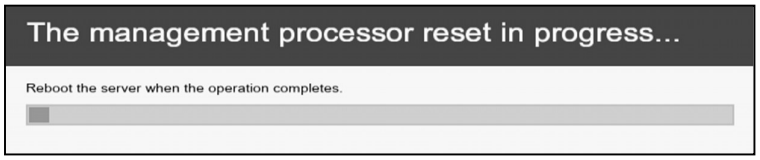
システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」での操作において、以下の①のポップアップが表示された場合は②以降の手順を厳守してください。
注意事項に従った操作を実施されない場合、「Memory Initialization - Start」のメッセージで POST 停止、あるいは対象サーバーに記録されている Serial Number、Product ID などが消失することがあります。
「Memory Initialization - Start」のメッセージで POST 停止した場合は、システムメンテナンススイッチ SW6 にて、システム設定をデフォルトに戻し正常に起動することを確認してください。
SW6 の操作手順については、メンテナンスガイドの「7.4 システム設定情報の初期化」>「7.4.2 システムメンテナンススイッチの操作手順」を参照してください。
Serial Number、Product ID などが消失した場合の復旧方法は、メンテナンスガイドの「5. トラブルシューティング」>「5.11 補足事項」の「Serial Number、Product ID が消失してしまった」の項目を参照してください。

① システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」において設定の変更を行うと、iLO の再起動を行うために、次の Warning(注意)ポップアップが表示されます。

英語表示の場合

日本語表示の場合

② 「OK」を押して進めます。
③ iLO の再起動が開始され、次のプログレスバーが表示されます。
プログレスバーが表示されている状態で何も操作は行わず、必ず 3 分以上お待ちください。
もし、3 分以内にプログレスバーが終了した場合においても、そのまま 3 分以上お待ちください。



英語表示の場合

日本語表示の場合

④ 3 分以上経過後、以下を確認します。
A. 本体装置操作時
対象サーバー前面のステータスランプが緑色で点灯していることを確認してください。
- iLO が再起動中　　：ステータスランプが緑色で点滅（毎秒 1 回）
- iLO の再起動が完了し正常動作：ステータスランプが緑色で点灯

B. リモート(iLO Web インターフェイス)操作時
対象サーバーにログイン画面が表示されていることを確認してください。

⑤ ④において、iLO の再起動の完了を確認後、<ESC>キーを複数回押して、システムユーティリティ画面に戻ります。
⑥ システムユーティリティの「Reboot the System」を選択してシステムを再起動します。

A) ファームウェア更新に伴う変更点

(1) UMONITOR オプション

システム ROM バージョン 2.60 以降にて、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Processor Options」メニュー配下に「UMONITOR」オプションが追加されます。

オプション	パラメーター	説明
UMONITOR (注1)	Enabled [Disabled]	このオプションを使用して、CPL3 ソフトウェアが UMONITOR/UMWAIT 命令を使用するように構成します。

[　]: 出荷時の設定

注 1:システム ROM バージョン 2.60 以降にて追加されるオプションです。

(2) Uncore Frequency RAPL オプション、CPU C1 Auto Demotion オプション、CPU C1 Auto Undemotion オプション

システム ROM バージョン 2.60 以降にて、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Power and Performance Options」メニュー配下に「Uncore Frequency RAPL」オプション、「CPU C1 Auto Demotion」オプション、「CPU C1 Auto Undemotion」オプションが追加されます。

オプション	パラメーター	説明
Uncore Frequency RAPL (注1)	[Enabled] Disabled	このオプションは、実行平均電力制限(RAPL)バランサーを有効にするかどうかを制御します。このオプションを有効に設定すると、アンコアの電力バジェットがアクティブになります。
CPU C1 Auto Demotion (注1)	Enabled [Disabled]	CPU が自動的に C1 に降格できるようにします。
CPU C1 Auto Undemotion (注1)	Enabled [Disabled]	CPU が C1 から自動的に降格解除できるようにします。

[　]: 出荷時の設定

注 1:システム ROM バージョン 2.60 以降にて追加されるオプションです。

■商標について

EXPRESSBUILDER®、ESMPRO®は日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Intel®、Xeon®は、米国 Intel Corporation の登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

■本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がある場合は、下記のファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：ファーストコンタクトセンター
ＴＥＬ　　：0120-5800-72
受付時間　：9:00～12:00　13:00～17:00　月曜日～金曜日(祝日を除く)
※番号をお間違えにならないようお確かめのうえお問い合わせください。

NEC
2026 年 9 月　第 8 版